

水田利用再編奨励補助金基準

昨年より15.4%軽減

区 分	基本額 (平均) (基準収穫量に応じた額)	加 算 額	
		計画加算 (転作率に応じた額)	団地化加算 (定額)
転作奨励補助金	特定作物 大豆、飼料作物、麦、そば、てん菜	13,500	10,000
	永年性作物 果樹(植栽後5年以内のもの) 桑その他の木本性作物等 (植栽後3年以内のもの)	6,500 (平均10,000)	10,000
	一般作物等 特定作物、永年性作物以外の作物等	10,000 (平均5,000)	7,500
管理転作奨励補助金	野 菜	33,000	7,500
	保全管理の場 合	3年未満 3年以上	38,000 33,000
土地改良通年施行補助金		38,000	-

※一般作物のうち地域振興作物として指定されたバントムは10a当たり5,000円が加算されます。

一水田利用再編対策一

新年度の転作等目標面積は、昨年を一五・四ヘクタール下廻る一四〇・九ヘクタール(転作率一三・七パーセント)と決まりました。

これはご承知のとおり昨年の風水害や日照不足に起因する作況不良、三年連続の不作等により、国から県への目標配分面積が減少し、必然的に市町村への配分が軽減されたものであります。

各組合への割当てにつきましては、既に組合長を通じお知らせしてございますが、米価を維持し、食管制度を存続させて、政府に買上げを求めるためには、どうしても需給バランスをとらなくてはなりませんので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

なお奨励補助金等の基準は次表のとおりです。

また事前売渡申込み限度数量は六〇、六〇三俵で、転作等目標面積の軽減による増量(一、七〇五俵)を見込んでおります。

私のひとこと



航空機落下物に見舞われた

小川 肇さん(遠山)

毎年繰り返される落下物。どこが改善されたというのか。過日の某新聞への町長さんの言葉が、我々のやりきれない気持ちを代弁してくれています。

飛行機が来るたびに、あの鋭い落下音を思い出し身を固くします。あんなのが、まともに人体を直撃すればイチコロです。通り一遍の言いわけで済む話とは違います。ヘルメットをかぶらなくては外出ができません。騒音などところが他にありますか。

弁解上手な中央官庁のエリート官僚には、中台地区をはじめこの周辺の住民が、どんな気持ちで毎日を送っているのか、わかる筈がありません。

こんな精神的苦痛を、国や公団はどう救ってくれると言うのでしょうか。

いくら国策だからと言って、仕方がないとあきらめる問題ではないのです。純朴従順な農民でも、我慢のできることで、できないことがあります。

保険制度への努力は評価しますが、諸手をあげてよるこんではいられません。

いくら貰っても、いのちと引き換えては困りますから——とにかく落ちなくすることです。

アウターマーカーがあの位置にある以上は、真上を飛ぶことは絶対に避けられないことですから。



栗山川浄化に183の応募

栗山川周辺九市町村の小中学生を対象に募集した「栗山川浄化啓発作品」入選者の表彰式が、二月二十一日町中央公民館で行われました。

これは、栗山川汚染防止対策協議会が、同

川の汚染防止の意識高揚を図ることを目的に行ったもので、作文・標語・ポスター・合わせて一八三点の応募があり、審査の結果、当町からは、ポスターの部で秋山美知さん(上塚小)、標語の部で島中千秋さん(横芝中)が、それぞれ最優秀となった他、多数の入選者を出しました。

町長新聞談話の一部

「国の玄関だからと、騒音には目をつむり、空港建設に協力してきた。だが町内には開港以来わかっただけでも九回(現在十一回)もの物騒な落下物が相次いでいる。めったなことでは怒りを外に出さぬ素朴な住民。気持がわかるだけに、犠牲者が出てからは」と気持が焦る。

「国の偉い人は、すぐに補償金のことをいうが、本末転倒だ。……」

「乗客の安全も大事だし、かし、私にとっては町民の生命と引き換えにしてまで空港に協力することはできない。」

町長さん以下が、相当の努力を重ねられていると聞き、感謝してはいますが、安全が戻ってくるまでは、頑張り通して欲しいと願わずにはいられません。